

市民・協議会への説明に反して

# 市長が国保料引き上げ



星野美恵子  
市議会議員

日本共産党

中央区民報  
2010年夏季号外

星野美恵子市議の活動をご紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。(日本共産党中央南地区委員会 tel.526-2133)

発行：日本共産党福岡市議団  
www.jcp-fukuoka.jp  
電話 711-4734 FAX741-4627

無料 生活・法律  
そうだん

◎定例相談会  
毎月第三水曜日  
星野事務所 tel.715-6631  
(中央区黒門6-37)  
昼の部：14～17時  
夜の部：18～20時

◎福浜・高宮公民館  
2ヶ月に1度

◎党地区委員会  
月に1度(薬院3-13-12  
大場ビル1階)

サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など弁護士と星野市議が相談を受け付けます。日時等のお問い合わせは、電話 526-2133 (党地区委員会) までお気軽に。

6月議会

## 星野美恵子が厳しく追及 引き下げを求めました

日本共産党の星野美恵子市議は6月15日、国民健康保険に関する議案質疑で、今年の国保料を引き上げた吉田市長を厳しく追及しました。



←パネルを使っても追及 (6月議会)

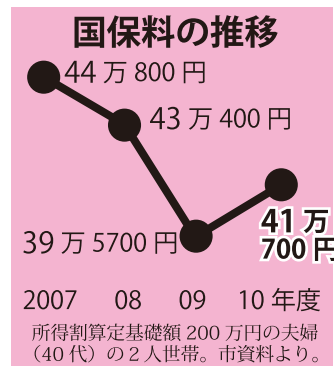
## 年1万6000円の値上げ

※所得200万円の場合

市は6月、今年度の国保料を確定。所得割料率を11・98%と前年度から0・73引き上げました(介護分を含めると14・87%)。これによって、年所得200万円の3人世帯の場合、1万5900円の値上げに。市は「国保加入世帯の総所得が減ったから」などと答弁しました。

星野市議は、国保加入世帯の平均所得が1割も減ったことを示し、「所得減の世帯に保険料引き上げなど絶対にはならないことだ」「一般会計繰入を増やしても、生活が苦しい世帯への打撃は避けるべき」と厳しく批判。引き上げを撤回し、引き下げを要求しました。

市側「加入世帯の所得減が理由」



市民あざむく

星野市議は、市が国保運営協議会で中間所得世帯の保険料が軽減されると説明していたことを指摘。「国保料引き上げは協議会の意向を無視するものだ」と追及しました。星野市議は保険証のとりあげ中止も求めました。

## こども病院・市民病院

### 独法化で医療サービス後退の危機 直営にもどせ

星野市議がたがたす

星野市議は、市立病院(こども病院・市民病院)の独立行政法人化(独法化)を6月議会でたたきました。

独法化をきっかけに医師が予定数よりも8名も不足、4分の1にあたる医師が辞め、継続性が確保されていないことが質問で明らかになりました。看護師も短時間勤務の非正規の人がふえ、患者からみる

と看護師がくるくるかわったり、受付で長時間待たされるなど、独法化で安心な医療とは逆行する実態がおきていることが浮き彫りになりました。

ひからびた  
ほうれん草

星野市議は、独法化で病院給食が外部委託になり、おかずが一品減ったり、ひからび

たほうれん草だったりする事態があると指摘。「このままでは命を守るといふ病院の使命は果たせない」「直営に戻すべき」と市長に迫りました。

また、星野市議は、こども病院の人工島移転の中止、新病院のPFI方式での建設について1社しか応募がなく破たんした問題をたたきました。

# 九大六本松跡地

全市的に活用されてきた中央区のメルパルクホール《1,260席》が2007年に、電気ホール《1,140席》が2009年になくなり、さらに数年後には市立の少年科学文化会館ホール《800席》も学校用地となるため立退きが計画されています。どのホールも十分な需要があったもので、都心のホール整備の必要性はこれまで以上に高まっています。

住民の強い要求があり、活用できる公共用地がそろい、さらに交通の結節点でもある六本松の九大跡地は願ってもない絶好の場所です。

少年科学文化会館の移設に最適な場所です



工事がすすむ柳橋付近を視察する星野市議

# 水害対策



団地の自治会長から話を聞く星野市議 ↑ 切断された線



# 市営住宅の避雷針アース盗まれていた

落雷すると家電が全滅の危険!

市営福浜団地の自治会長から「避雷針の導線が盗難にあっている。市に再設置を求めたがすぐ動いてくれない」との訴えがありました。

星野市議は「非常に危険で一刻の猶予もならない問題。早急に修復すべき」と再度要求しました。

星野市議は「このままだと落雷で家電等に莫大な被害がでる恐れがある」と市に調査と早急な再設置を厳しく要求しました。

市は調査結果として「福浜市住で設置が必要な12の棟のうち、盗難にあった11の棟について9月末までに修復をする」と回答してきた。

# 全力をあげています

7月の豪雨で天神で道路損壊、今泉で冠水の被害が出ました。星野市議も被害状況をつぶさに調べました。

日本共産党と星野市議は、水害対策に一貫してとりくんできました。昨年9月の議会で那珂川の川底を掘り、護岸整備をするよう求め、その後も早期の河川改修を要求。こうした中で県は河床掘削、護岸整備、橋・堰の改築などをうちだしました。写真のように、工事がすすめられています。

今年高宮小・赤坂小・警固中・南当仁小の施設をチェック

# 学校ウォッチング



建設労働者の団体や女性団体など市民とともに市内小中学校の施設の現状をチェックする「学校ウォッチング」。7月27日に星野市議も参加しました。警固中では廊下のスレート屋根の一部が落下しました。

# 有馬精一さん市長選へ出馬表明



6月市内で、日本共産党も参加する「市民が主人公の福岡市をつくる市民の会」から、国保引き下げ運動の先頭にたってきた有馬精一さん(59歳)が、今年11月の市長選挙に出馬を表明しました。

# 国の保育制度改悪 ゆるしません

保育園を探す責任が市から親に押しつけられ、パートとフルタイムで保育時間に差別が……国の保育制度改悪に反対する福岡市保育協会の決起集会が市内であり、星野市議も参加しました。

星野市議は、6月議会で、改悪反対を国に求める意見書を市議会で提案。賛成多数で採択されました。



市保育協会の決起集会に参加した星野市議

# 星野市議ただちに再設置を求め実現